

# 豪州高配当株 ツインαファンド (毎月分配型)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合				
信託期間	2012年8月31日から2023年4月25日まで				
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。				
主要運用対象	外国投資信託である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド」および親投資信託である「T&Dマネーブルマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。				
	<table border="1"> <tr> <td>クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド</td> <td>主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。</td> </tr> <tr> <td>T&amp;Dマネーブルマザーファンド</td> <td>わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</td> </tr> </table>	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。	T&Dマネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券(不動産投資信託(リート)を含みます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体(株価指数等)のオプション取引(コールオプションの売却)および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。			
T&Dマネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。				
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。株式への直接投資は行いません。				
分配方針	毎決算時(毎月25日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益(評価益を含みます。)が中心となる場合があります。				

## 運用報告書(全体版)(第15作成期)

第83期(2019年8月26日) 第86期(2019年11月25日)  
第84期(2019年9月25日) 第87期(2019年12月25日)  
第85期(2019年10月25日) 第88期(2020年1月27日)

### お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。  
さて、「豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)」は、2020年1月27日に第88期決算を行いましたので、第83期から第88期の運用状況をご報告申し上げます。  
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

決算期	基準価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	クレディ・スイス・ ユニバーサル・ト トラース II (ケイマン) 高配当株・ 豪州高配当株・ ツインαファンド 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率						
第11 作成 期	59期 (2017年8月25日)	円 3,858	円 70	% 1.3	% —	% —	% 98.9	% 98.9	百万円 13,221
	60期 (2017年9月25日)	3,841	70	1.4	—	—	99.3	12,806	
	61期 (2017年10月25日)	3,836	70	1.7	—	—	99.1	12,378	
	62期 (2017年11月27日)	3,643	70	△3.2	—	—	98.9	11,623	
	63期 (2017年12月25日)	3,630	70	1.6	—	—	99.0	11,404	
	64期 (2018年1月25日)	3,482	70	△2.1	—	—	99.0	10,723	
第12 作成 期	65期 (2018年2月26日)	3,249	70	△4.7	—	—	98.9	9,892	
	66期 (2018年3月26日)	3,089	70	△2.8	—	—	99.0	9,338	
	67期 (2018年4月25日)	3,041	70	0.7	—	—	99.7	9,031	
	68期 (2018年5月25日)	2,967	70	△0.1	—	—	99.0	8,731	
	69期 (2018年6月25日)	2,876	70	△0.7	—	—	99.4	8,334	
	70期 (2018年7月25日)	2,843	70	1.3	—	—	99.1	8,146	
第13 作成 期	71期 (2018年8月27日)	2,805	70	1.1	—	—	99.2	7,977	
	72期 (2018年9月25日)	2,676	70	△2.1	—	—	99.0	7,631	
	73期 (2018年10月25日)	2,528	50	△3.7	—	—	99.0	7,215	
	74期 (2018年11月26日)	2,465	50	△0.5	—	—	99.4	6,875	
	75期 (2018年12月25日)	2,249	50	△6.7	—	—	99.1	6,059	
	76期 (2019年1月25日)	2,326	50	5.6	—	—	98.8	6,228	
第14 作成 期	77期 (2019年2月25日)	2,337	50	2.6	—	—	99.0	6,346	
	78期 (2019年3月25日)	2,276	50	△0.5	—	—	98.9	6,187	
	79期 (2019年4月25日)	2,300	50	3.3	—	—	97.8	6,150	
	80期 (2019年5月27日)	2,231	50	△0.8	—	—	99.0	6,020	
	81期 (2019年6月25日)	2,190	50	0.4	—	—	98.8	5,804	
	82期 (2019年7月25日)	2,195	50	2.5	—	—	99.0	5,764	
第15 作成 期	83期 (2019年8月26日)	2,038	50	△4.9	—	—	99.1	5,324	
	84期 (2019年9月25日)	2,091	35	4.3	—	—	99.0	5,439	
	85期 (2019年10月25日)	2,077	35	1.0	—	—	99.3	5,269	
	86期 (2019年11月25日)	2,020	35	△1.1	—	—	99.1	5,022	
	87期 (2019年12月25日)	2,033	35	2.4	—	—	99.4	4,920	
	88期 (2020年1月27日)	2,009	35	0.5	—	—	99.3	4,808	

(注) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド組入比率
		円	騰 落 率			
第83期	期 首 (前期末) 2019年7月25日	2,195	—	—	—	99.0
	7 月 末	2,190	△0.2	—	—	99.2
	期 末 2019年8月26日	2,088	△4.9	—	—	99.1
第84期	期 首 (前期末) 2019年8月26日	2,038	—	—	—	99.1
	8 月 末	2,040	0.1	—	—	99.1
	期 末 2019年9月25日	2,126	4.3	—	—	99.0
第85期	期 首 (前期末) 2019年9月25日	2,091	—	—	—	99.0
	9 月 末	2,081	△0.5	—	—	98.8
	期 末 2019年10月25日	2,112	1.0	—	—	99.3
第86期	期 首 (前期末) 2019年10月25日	2,077	—	—	—	99.3
	10 月 末	2,079	0.1	—	—	99.3
	期 末 2019年11月25日	2,055	△1.1	—	—	99.1
第87期	期 首 (前期末) 2019年11月25日	2,020	—	—	—	99.1
	11 月 末	2,047	1.3	—	—	99.2
	期 末 2019年12月25日	2,068	2.4	—	—	99.4
第88期	期 首 (前期末) 2019年12月25日	2,033	—	—	—	99.4
	12 月 末	2,037	0.2	—	—	99.2
	期 末 2020年1月27日	2,044	0.5	—	—	99.3

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

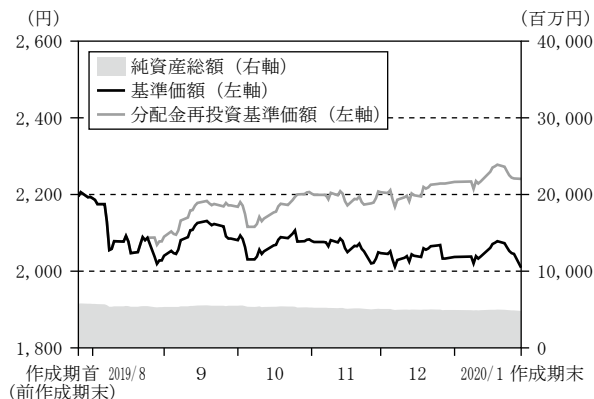
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 当作成期の運用状況と今後の運用方針

### ■ 基準価額等の推移



第83期首：2,195円  
 第88期末：2,009円（既払分配金225円）  
 騰落率：2.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2019年7月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている外国投資信託において、保有しているオーストラリア高配当株式の価格上昇などがプラス寄与した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

### ■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト （ケイマン）II-蒙州高配当株・ツインαファンド	2.9%
T&Dマネーブルマザーファンド	△0.0

### ■ 投資環境

#### 【オーストラリア株式市況】

当作成期のオーストラリア株式市場は上昇しました。2019年8月、米中貿易摩擦の激化懸念が広がるなか、米国で景気後退の兆しとされる逆イールド（長短金利水準の逆転）が発生し、世界経済の減速懸念が強まったことなどから、株価は大幅に下落しました。9月には、米中貿易協議の再開への期待から投資家のリスク回避姿勢が緩んだことや、豪雇用統計の悪化を受けてRBA（オーストラリア準備銀行）による利下げ期待が強まったことなどを背景に、株価は上昇しました。その後は、米中貿易協議の進展や、RBAによる追加利下げへの期待が株価の押し上げ要因となった一方、世界経済の減速懸念が投資家のリスク回避姿勢を強めたほか、一部大手銀行の資金洗浄に関する法令違反が発覚したことが銀行セクターの重石となったことなどから、株価は上下に振れる展開となりました。12月中旬以降には、米中貿易協議が第一段階での合意に達したことが好感されて株価は上昇し、作成期末にかけても、貿易や消費、住宅関連の堅調な経済指標が株価を押し上げる展開となりました。

#### 【為替市況】

豪ドルは対円で下落しました。2019年8月、トランプ米大統領が中国製品に対する新たな輸入関税の適用を発表したことを受けて、貿易摩擦問題が激化すると懸念が拡大し、市場心理が悪化するなか豪ドルは円に対し大幅に下落しました。その後は、4-6月期の豪経常収支が44年ぶりの大幅黒字となったことが好感されたほか、4-6月期豪GDP成長率が市場予想と一致したことを受

けて利下げ観測が後退したことなどから、豪ドルは円に対し大幅に上昇しました。9月中旬以降は、豪雇用関連データの悪化などを背景に利下げ観測が再燃したことなどから豪ドルは円に対し下落する局面もありましたが、米中貿易協議の進展期待や、豪住宅関連指標の改善などを背景に、豪ドル高円安基調が続きました。12月には、米中貿易協議が第一段階での合意に達したことが市場心理の改善につながり、豪ドルの買い材料となりました。しかし作成期末にかけては、オーストラリアでの森林火災が実体経済に及ぼす影響が懸念されるなか、豪ドル安円高基調に転じました。

## 【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の $\Delta 0.13\%$ から作成期末は $\Delta 0.12\%$ となりました。作成期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

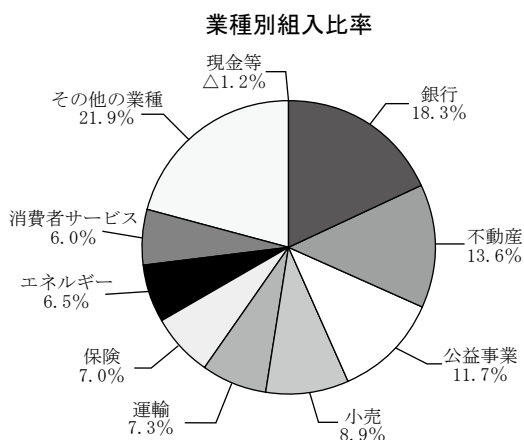
### 【当ファンド】

作成期を通じて、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンド」を概ね高位に組入れ、「T&Dマネープールマザーファンド」にも投資を行いました。

### 【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）への投資を行うと同時に、スワップ取引を通じて、オーストラリア株式市場全体（株価指数等）にかかるコールオプションを売却する「株式オプション $\alpha$ 戦略」および、円に対する豪ドルのコールオプションを売却する「通貨オプション $\alpha$ 戦略」を組み合わせた運用を行いました。

＜クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンドの組入状況＞  
2019年12月30日現在（現地基準）



### 組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	比率
1	AGL ENERGY LTD	公益事業	5.6%
2	AUST AND NZ BANKING GROUP	銀行	5.3
3	TELSTRA CORP LTD	電気通信サービス	4.6
4	STOCKLAND	不動産	4.6
5	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	銀行	4.5
6	WOODSIDE PETROLEUM LTD	エネルギー	4.5
7	JB HI-FI LTD	小売	3.9
8	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	銀行	3.8
9	WESTPAC BANKING CORP	銀行	3.6
10	SCENTRE GROUP	不動産	3.5

(注) 比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する比率（リートを含む）です。

(注) 組入状況は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに当社が作成したものです。

(注) 現金等は、未払金等が多い場合、マイナスになることがあります。

## 【T & Dマネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

### ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

### ■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第83期は50円、第84期から第88期までは各35円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■ 今後の運用方針

#### 【当ファンド】

主要投資対象である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンド」への投資比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「T & Dマネープールマザーファンド」への投資も継続する方針です。

#### 【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、「株式オプション $\alpha$ 戦略」および「為替オプション $\alpha$ 戦略」を活用し、引続き年率15%の目標オプション料（プレミアム収入）の獲得を目指します。

#### 【T & Dマネープールマザーファンド】

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率は緩やかに上昇していくことが見込まれるものの、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2019年7月26日から2020年1月27日まで)

費用の明細

項目	第83期～第88期		項目の概要
	2019/7/26～2020/1/27		
	金額	比率	
平均基準価額	2,079円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	15円 ( 6) ( 9)  ( 0)	0.743% (0.280) (0.447)  (0.017)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	1 ( 1)	0.033 (0.033)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用) (その他)	0 ( 0) ( 0)	0.008 (0.008) (0.000)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	16	0.784	

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

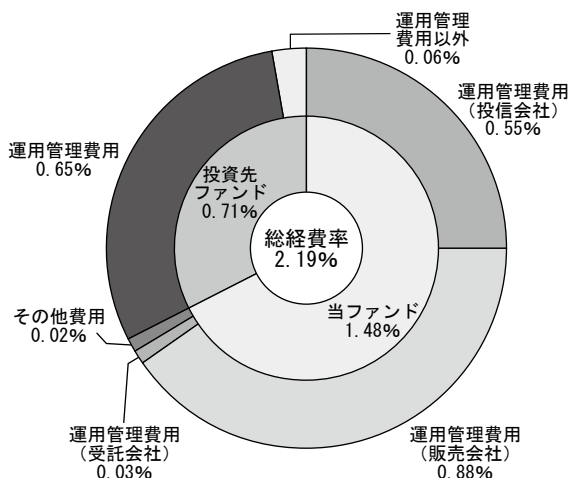
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、2.19%です。



総経費率 (①+②+③)	2.19%
①当ファンドの費用の比率	1.48%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.65%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2019年7月26日から2020年1月27日まで)

(1) 投資信託証券

		第 83 期 ~ 第 88 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	口 44,853	千円 90,000	口 292,652	千円 577,261

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

		第 83 期 ~ 第 88 期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
T & D マネープールマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 5,286	千円 5,370	

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2019年7月26日から2020年1月27日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。



組入資産の明細 (2020年1月27日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第82期末)	当 作 成 期 末 (第 88 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンド	口 2,706,657	口 2,458,858	千円 4,774,168	% 99.3

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前作成期末 (第82期末)	当 作 成 期 末 (第 88 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
T & D マネープールマザーファンド	千口 29,581	千口 24,294	千円 24,676

(注) T & D マネープールマザーファンド全体の受益権口数は753,481千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2020年1月27日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 88 期 末)	
	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツイン $\alpha$ ファンド	千円 4,774,168	% 96.9
T & D マネープールマザーファンド	24,676	0.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	126,108	2.6
投 資 信 託 財 産 総 額	4,924,952	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年8月26日現在 2019年9月25日現在 2019年10月25日現在 2019年11月25日現在 2019年12月25日現在 2020年1月27日現在

項 目	第 83 期 末	第 84 期 末	第 85 期 末	第 86 期 末	第 87 期 末	第 88 期 末
(A) 資 産	5,484,419,806円	5,561,826,208円	5,480,673,380円	5,139,178,107円	5,033,279,807円	4,924,952,204円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	178,757,513	146,150,059	139,676,393	131,492,268	117,131,544	126,107,724
クレディ・スイス・ユニバーサル・ トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ ツインαファンド(評価額)	5,275,607,569	5,385,624,383	5,233,179,413	4,977,637,031	4,891,471,885	4,774,168,102
T&Dマネーブルマザーファンド(評価額)	30,054,724	30,051,766	30,051,766	30,048,808	24,676,378	24,676,378
未 収 入 金	-	-	77,765,808	-	-	-
(B) 負 債	159,510,507	122,545,456	211,374,299	116,633,777	113,007,155	116,151,196
未 払 収 益 分 配 金	130,615,236	91,059,975	88,787,122	87,036,536	84,690,351	83,764,725
未 払 解 約 金	21,860,930	25,026,451	116,058,823	23,092,913	22,240,483	25,812,098
未 払 信 託 報 酬	6,960,737	6,391,466	6,460,180	6,436,316	6,012,781	6,505,669
未 払 利 息	344	295	183	272	258	232
そ の 他 未 払 費 用	73,260	67,269	67,991	67,740	63,282	68,472
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	5,324,909,299	5,439,280,752	5,269,299,081	5,022,544,330	4,920,272,652	4,808,801,008
元 本	26,123,047,388	26,017,135,743	25,367,749,163	24,867,581,935	24,197,243,160	23,932,778,706
次 期 繰 越 損 益 金	△20,798,138,089	△20,577,854,991	△20,098,450,082	△19,845,037,605	△19,276,970,508	△19,123,977,698
(D) 受 益 権 総 口 数	26,123,047,388口	26,017,135,743口	25,367,749,163口	24,867,581,935口	24,197,243,160口	23,932,778,706口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C / D)	2.038円	2.091円	2.077円	2.020円	2.033円	2.009円

(注) 当ファンドの第83期首元本額は26,264,873,839円、第83～88期中追加設定元本額は2,380,995,744円、第83～88期中一部解約元本額は4,713,090,877円です。

(注) 元本の欠損

第88期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は19,123,977,698円です。

(注) 第88期末の1口当たり純資産額は0.2009円です。

### 損益の状況

自2019年7月26日 自2019年8月27日 自2019年9月26日 自2019年10月26日 自2019年11月26日 自2019年12月26日  
至2019年8月26日 至2019年9月25日 至2019年10月25日 至2019年11月25日 至2019年12月25日 至2020年1月27日

項 目	第 83 期	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期
(A) 配 当 等 収 益	131,201,604円	90,466,361円	88,979,359円	89,112,757円	84,643,794円	83,519,427円
受 取 配 当 金	131,206,374	90,469,772	88,982,571	89,116,671	84,647,721	83,522,585
受 取 利 息	-	-	6	-	-	-
支 払 利 息	△ 4,770	△ 3,411	△ 3,218	△ 3,914	△ 3,927	△ 3,113
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 398,978,225	141,189,128	△ 27,577,106	△ 138,296,954	38,813,236	△ 51,162,825
売 買 益	4,662,713	142,038,474	3,903,610	1,402,932	40,058,681	285,043
売 買 損	△ 403,640,938	△ 849,346	△ 31,480,716	△ 139,699,886	△ 1,245,445	△ 51,447,868
(C) 信 託 報 酬 等	△ 7,034,075	△ 6,458,735	△ 6,528,216	△ 6,504,056	△ 6,076,161	△ 6,574,141
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 274,810,696	225,196,754	54,874,037	△ 55,688,253	117,380,869	25,782,506
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△10,231,873,893	△10,435,985,382	△ 9,736,034,309	△ 9,471,202,886	△ 9,268,979,621	△ 9,035,008,846
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△10,160,838,264	△10,276,006,388	△10,328,502,688	△10,231,109,930	△10,040,681,405	△10,030,986,633
(記 当 等 相 当 額)	( 3,058,043,442)	( 3,039,905,645)	( 2,961,296,434)	( 2,897,272,862)	( 2,815,228,816)	( 2,780,673,745)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△13,218,881,706)	(△13,315,912,033)	(△13,289,799,122)	(△13,128,382,792)	(△12,855,910,221)	(△12,811,660,378)
(G) 合 計 (D + E + F)	△20,667,522,853	△20,486,795,016	△20,009,662,960	△19,758,001,069	△19,192,280,157	△19,040,212,973
(H) 収 益 分 配 金	△ 130,615,236	△ 91,059,975	△ 88,787,122	△ 87,036,536	△ 84,690,351	△ 83,764,725
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△20,798,138,089	△20,577,854,991	△20,098,450,082	△19,845,037,605	△19,276,970,508	△19,123,977,698
追 加 信 託 差 損 益 金	△10,167,285,971	△10,279,122,138	△10,334,838,667	△10,235,537,765	△10,044,893,778	△10,037,806,027
(記 当 等 相 当 額)	( 3,051,595,735)	( 3,036,789,895)	( 2,954,960,455)	( 2,892,845,027)	( 2,811,016,443)	( 2,773,854,351)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△13,218,881,706)	(△13,315,912,033)	(△13,289,799,122)	(△13,128,382,792)	(△12,855,910,221)	(△12,811,660,378)
繰 越 損 益 金	△10,630,852,118	△10,298,732,853	△ 9,763,611,415	△ 9,609,499,840	△ 9,232,076,730	△ 9,086,171,671

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

## 分配金の計算過程

### 【第83期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（124,167,529円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,058,043,442円）より、分配対象収益は3,182,210,971円（1万口当たり1,218円）であり、うち130,615,236円（1万口当たり50円）を分配金額としております。

### 【第84期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（87,944,225円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（3,039,905,645円）より、分配対象収益は3,127,849,870円（1万口当たり1,202円）であり、うち91,059,975円（1万口当たり35円）を分配金額としております。

### 【第85期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（82,451,143円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,961,296,434円）より、分配対象収益は3,043,747,577円（1万口当たり1,199円）であり、うち88,787,122円（1万口当たり35円）を分配金額としております。

### 【第86期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（82,608,701円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,897,272,862円）より、分配対象収益は2,979,881,563円（1万口当たり1,198円）であり、うち87,036,536円（1万口当たり35円）を分配金額としております。

### 【第87期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（80,477,978円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,815,228,816円）より、分配対象収益は2,895,706,794円（1万口当たり1,196円）であり、うち84,690,351円（1万口当たり35円）を分配金額としております。

### 【第88期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（76,945,331円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,780,673,745円）より、分配対象収益は2,857,619,076円（1万口当たり1,194円）であり、うち83,764,725円（1万口当たり35円）を分配金額としております。

## 分配金のご案内

### 分配金および分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期
	2019年7月26日 ～2019年8月26日	2019年8月27日 ～2019年9月25日	2019年9月26日 ～2019年10月25日	2019年10月26日 ～2019年11月25日	2019年11月26日 ～2019年12月25日	2019年12月26日 ～2020年1月27日
当期分配金	50	35	35	35	35	35
（対基準価額比率）	2.395	1.646	1.657	1.703	1.692	1.712
当期の収益	47	33	32	33	33	32
当期の収益以外	2	1	2	1	1	2
翌期繰越分配対象額	1,168	1,167	1,164	1,163	1,161	1,159

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

## 補足情報

### T & D マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

### T & D マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

## 組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
基本運用方針	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体（株価指数等）のオプション取引（コールオプションの売却）および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。
投資態度	<p><b>[高配当株投資]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資を行います。</li> <li>主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。</li> <li>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul> <p><b>[株式オプションα戦略・通貨オプションα戦略]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スワップ取引を通じて、実質的に豪州株価指数等*を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 *市場環境によっては、豪州株保有銘柄を対象とする場合があります。</li> <li>スワップ取引を通じて、実質的に豪ドル（対円）を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。</li> <li>原則として概ね保有する豪ドル建資産の評価額程度のコールオプションの売却を行います。</li> </ul> <p>※資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。</p>
主な投資制限	<p>転換社債、ワラントへの投資は行いません。</p> <p>同一発行体への投資割合は、原則として、純資産総額の10%以下とします。</p> <p>同一業種への投資割合は、原則として、純資産総額の35%以下とします。</p>
分配方針	原則として、毎月分配を行います。
投資顧問会社	クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド（各オプションα戦略の運用）
副投資顧問会社	<p>レグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッド*（豪州高配当株の運用）</p> <p>※レグ・メイソン・アセット・マネジメント・オーストラリア・リミテッドの株式運用部門は、マーティン・カリー・オーストラリアのブランド名で事業活動を行っています。</p>

※次ページ以降の記載は、バンクオブニューヨーククモロン証券株式会社より入手した情報をもとに作成しております。(1)は監査済報告書を当社が一部翻訳したもの、(2)は保有明細をもとに当社が作成したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) 損益計算書

計算期間：2018年2月1日～2019年1月31日

単位：円

収益

受取配当金	417,944,332
スワップ取引に係る収益・費用	201,667,950
投資に係る純損益	(1,621,774,811)
<b>投資純損益</b>	<b>(1,002,162,529)</b>
その他収益	3,071,870
外国為替取引に係る純損益	( 15,203,825)
<b>収益合計</b>	<b>(1,014,294,484)</b>

費用

投資顧問料	39,880,933
その他費用	4,826,384
取引手数料	3,071,870
管理・保管費用	11,268,466
事務代行手数料	1,502,326
運用報酬	511,064
<b>運用費用合計</b>	<b>61,061,043</b>
税引前損益	(1,075,355,527)
源泉徴収税	( 15,237,011)
<b>期中の純資産変動</b>	<b>(1,090,592,538)</b>

(注) 日付は現地基準です。

(注) ( ) 書きは負数です。

## (2) 組入資産の明細

作成基準日：2019年1月31日

## 1. 株式現物

銘柄名	株数	評価額		業種
		株	円	
ADELAIDE BRIGHTON LTD	168,884		59,904,101	素材
AUST AND NZ BANKING GROUP	173,580		344,763,323	銀行
WESTPAC BANKING CORP	122,445		238,535,530	銀行
TELSTRA CORP LTD	1,283,461		316,740,494	電気通信サービス
AUSNET SERVICES	722,999		94,663,415	公益事業
MEDIBANK PRIVATE LTD	279,975		58,207,784	保険
AGL ENERGY LTD	225,425		383,161,681	公益事業
VICINITY CENTRES	925,375		191,654,400	不動産
VIVA ENERGY GROUP LTD	839,902		122,632,890	エネルギー
COLES GROUP LTD	85,997		85,369,185	食品・生活必需品小売り
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	105,122		89,923,438	銀行
COCA-COLA AMATIL LTD	237,589		158,367,529	食品・飲料・タバコ
ASX LTD	26,683		134,897,154	各種金融
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	373,534		99,889,667	小売
TRANSURBAN GROUP	167,638		161,891,324	運輸
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	45,879		254,515,227	銀行
CHARTER HALL RETAIL REIT	91,712		33,112,966	不動産
APA GROUP	269,480		196,304,269	公益事業
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	268,183		150,882,199	保険
GPT GROUP	199,178		91,670,560	不動産
SUNCORP GROUP LTD	125,458		129,221,143	保険
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	110,893		209,959,291	銀行
JB HI-FI LTD	80,868		143,550,005	小売
AMP LTD	860,189		154,263,382	各種金融
IOOF HOLDINGS LTD	207,551		82,842,527	各種金融
STOCKLAND	753,951		226,149,403	不動産
TABCORP HOLDINGS LTD	545,879		201,423,373	消費者サービス
WESFARMERS LTD	84,297		215,458,369	小売
SEVEN WEST MEDIA LTD	132,513		5,678,227	メディア・娯楽
WOODSIDE PETROLEUM LTD	102,794		279,946,840	エネルギー
WOOLWORTHS GROUP LTD	60,404		140,776,502	食品・生活必需品小売り
DEXUS	39,744		36,205,453	不動産
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	737,775		141,091,712	公益事業
MACQUARIE GROUP LTD	6,307		58,295,458	各種金融
G8 EDUCATION LTD	253,254		63,705,379	消費者サービス
SYDNEY AIRPORT	294,878		153,499,419	運輸
AURIZON HOLDINGS LTD	231,711		80,902,111	運輸
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	159,769		31,568,387	不動産
WPP AUNZ LTD	200,694		8,759,062	メディア・娯楽
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDINGS	1,071,089		123,665,648	メディア・娯楽
SCENTRE GROUP	718,161		226,241,801	不動産
合計			5,980,290,628	

(注) 日付は現地基準です。

(注) リートを含みます。

## 2. スワップ

想定元本額	評価額
円	円
6,220,105,063	(73,726,905)

(注) ( ) 書きは負数です。

## T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第30期（決算日 2019年12月10日）  
（計算期間 2019年6月11日から2019年12月10日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2019年12月10日に第30期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

### 最近5期の運用実績、基準価額の推移等

#### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落中率 %			
26期（2017年12月11日）	10,172	△0.0	—	—	百万円 747
27期（2018年6月11日）	10,169	△0.0	—	—	717
28期（2018年12月10日）	10,165	△0.0	—	—	701
29期（2019年6月10日）	10,161	△0.0	—	—	652
30期（2019年12月10日）	10,158	△0.0	—	—	733

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。



## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率	債券組入比率 %	債券先物比率 %
		%		
期首 (前期末) 2019年6月10日	10,161	—	—	—
6月末	10,161	0.0	—	—
7月末	10,160	△0.0	—	—
8月末	10,160	△0.0	—	—
9月末	10,159	△0.0	—	—
10月末	10,159	△0.0	—	—
11月末	10,158	△0.0	—	—
期 末 2019年12月10日	10,158	△0.0	—	—

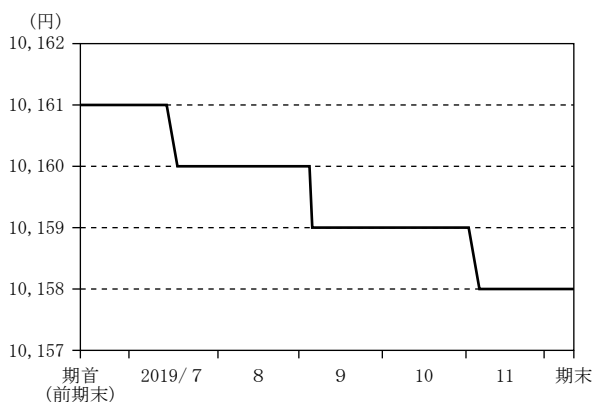
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期の運用状況と今後の運用方針

### ■ 基準価額の推移



### ■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,161円から期末は10,158円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから下落しました。

## ■ 投資環境

### 【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.15%から期末は△0.11%となりました。期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## ■ 今後の運用方針

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率は緩やかに上昇していくことが見込まれるものの、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2019年6月11日から2019年12月10日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2019/6/11~2019/12/10	
	金額	比率
平均基準価額	10,159円	
その他費用 (その他)	0円 ( 0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

(注) その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

売買および取引の状況 (2019年6月11日から2019年12月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2019年6月11日から2019年12月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2019年12月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2019年12月10日現在)

項目	当 期		末
	評 価 額	比 率	
コール・ローン等、その他	千円 733,037		% 100.0
投資信託財産総額	733,037		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	733,037,235円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	733,037,235
(B) 負 債	1,295
未 払 利 息	1,295
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	733,035,940
元 本	721,650,571
次 期 繰 越 損 益 金	11,385,369
(D) 受 益 権 総 口 数	721,650,571口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	10,158円

(注) 期首元本額 642,505,535円  
 期中追加設定元本額 84,767,134円  
 期中一部解約元本額 5,622,098円

(注) 1口当たり純資産額は1.0158円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳  
 T & Dインド中小型株ファンド 69,040,591円  
 米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 円ヘッジ・コース 1,653,709円  
 米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 通貨プレミアム・コース 57,394,392円  
 米国リート・プレミアムファンド (年2回決算型) マネーボール・コース 88,475円  
 豪州高配当株ツインαファンド (毎月分配型) 24,294,948円  
 野村エマージング債券投信 (円コース) 毎月分配型 22,097,965円  
 野村エマージング債券投信 (円コース) 年2回決算型 5,675,163円  
 野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 毎月分配型 6,884,550円  
 野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 年2回決算型 1,424,313円  
 野村エマージング債券投信 (豪ドルコース) 毎月分配型 31,119,437円  
 野村エマージング債券投信 (豪ドルコース) 年2回決算型 2,636,170円  
 野村エマージング債券投信 (ブラジルレアルコース) 毎月分配型 311,359,888円  
 野村エマージング債券投信 (ブラジルレアルコース) 年2回決算型 9,735,828円  
 野村エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 毎月分配型 1,413,489円  
 野村エマージング債券投信 (南アフリカランドコース) 年2回決算型 131,726円  
 野村エマージング債券投信 (カナダドルコース) 毎月分配型 1,038,862円  
 野村エマージング債券投信 (カナダドルコース) 年2回決算型 308,202円  
 野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 毎月分配型 43,012,339円  
 野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 年2回決算型 11,872,046円  
 野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 毎月分配型 33,235,413円  
 野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 年2回決算型 4,042,047円  
 野村エマージング債券投信 (金コース) 毎月分配型 13,535,750円  
 野村エマージング債券投信 (金コース) 年2回決算型 8,783,712円  
 野村エマージング債券投信 (マネーボールファンド) 年2回決算型 48,607,127円  
 資源ツインαファンド (通貨選択型) ブラジルレアルコース 4,910,145円  
 資源ツインαファンド (通貨選択型) トルコリラコース 883,826円  
 資源ツインαファンド (通貨選択型) 米ドルコース 6,383,188円  
 資源ツインαファンド (通貨選択型) マネーボールコース 87,270円

### 損益の状況

当期 自2019年6月11日 至2019年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 224,202円
受 取 利 息	46
支 払 利 息	△ 224,248
(B) そ の 他 費 用	△ 1,664
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	△ 225,866
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	10,359,271
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,340,866
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 88,902
(G) 合 計 (C+D+E+F)	11,385,369
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	11,385,369

(注) 損益の状況の中で  
 (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。  
 (F)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。